

IEEE 802.11ah (Wi-Fi HaLow™) 対応 ワイヤレスアクセスポイント・ブリッジ

IEEE 802.11ah (Wi-Fi HaLow™) とは

2022年9月5日より、日本国内における920MHz帯で IEEE802.11ah を含む最大4MHz幅の広帯域無線システムの利用が可能となりました。特に IoT の通信システムをターゲットとした、さまざまな分野で活用が期待される新しい種類のWi-Fi規格です。半径1kmの長距離通信が可能なおえ、画像と映像を送信できる通信速度を備えており、低消費電力という特長も持っています。

遠くまでつながる



920MHzで長距離通信
半径1kmのカバーエリア

約1kmの長距離通信が可能で、
かつ低消費電力

映像も送れる



長距離通信を
センサデータ以外でも

画像や映像の送受信もできる
数メガビット/秒程度のスループットが可能

導入が簡単



Wi-Fiの
プロトコル&セキュリティー

世界基準のデファクトスタンダードである
IP プロトコルの使用が可能

ワイヤレスアクセスポイント・ブリッジの想定ご利用シーン

無線LANブリッジとアクセスポイントをセットでご利用いただくことで、簡単に920MHz帯の電波を使用した低消費電力・長距離無線LANネットワークを既存のインフラに組み込んだり、新規に構築することができます。広大な倉庫・プラント・工場・郊外の建設現場でのデータ収集や、センサによる河川の増水監視、スマートグリッド、スマートメーター、スマートハウス、医療システム、スマートインダストリーなどのさまざまな IoT用途の通信を確立する個所での利用が期待されます。

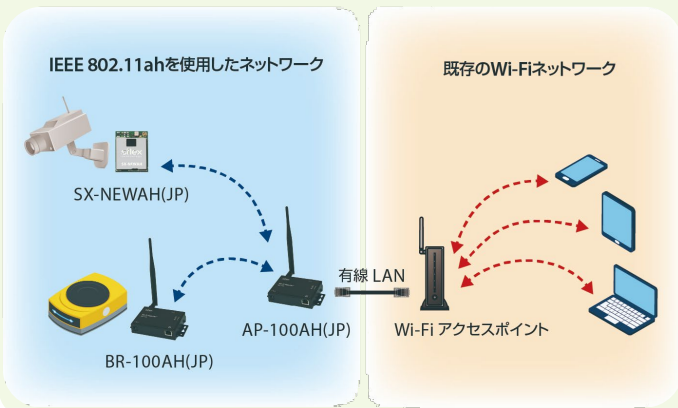


ワイヤレスアクセスポイント（親機） AP-100AH 日本モデルの特長

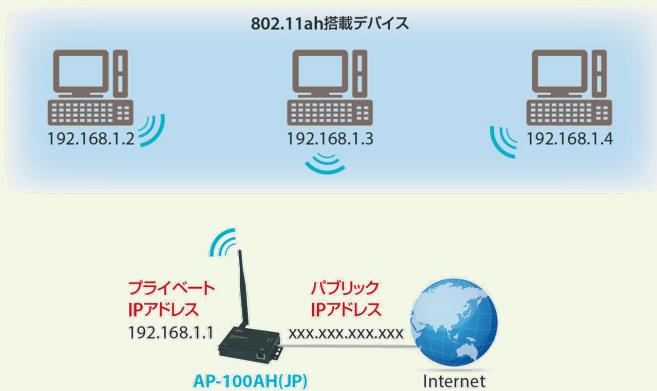
1台のアクセスポイントで半径1kmの範囲をカバーし
675台までの子機を接続することが可能



有線LANを介して従来の無線LANネットワークに
長距離で多台数接続が可能



アクセスポイントはネットワークアドレス変換（NAT）
に対応しネットワークシステムのセキュリティを向上



最先端のWi-FiセキュリティであるWPA3に対応し、
より堅牢な認証を可能にし強固なセキュリティを提供



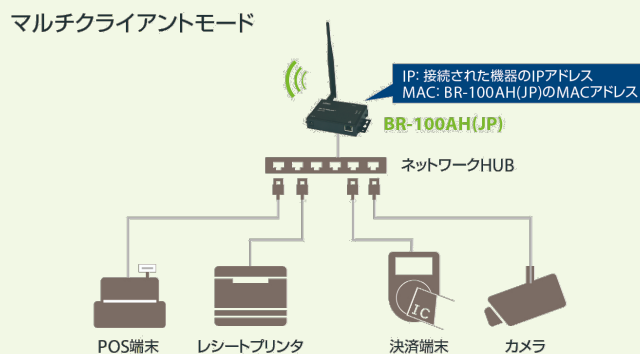
- ・最新のセキュリティ手法を使用
- ・レガシープロトコルを拒否
- ・保護された管理フレーム（PMF）の使用を要求

無線LANブリッジ（子機） BR-100AH 日本モデルの特長

有線LAN対応の機器にブリッジを接続することで、
約1kmの長距離通信を実現するネットワークに対応



ブリッジ1台で最大16台の有線LAN機器を無線化
できるマルチクライアントモードで動作



- 記載の会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。
- 記載事項は変更になる場合があります。

横河レンタルリース株式会社

<https://www.yrl.com/>

お問い合わせ